日本共産党久喜市議団　No.89

市議団ニュース

連絡先　2014年11月16日号
杉野　修　58−9010　渡辺昌代　21−9058
石田利春　52−7260　平間益美　23−9519
【議員団控室（市役所4F）の住所・久喜市下早見８５−３】
「**日本共産党久喜市議団ブログ**」更新中です

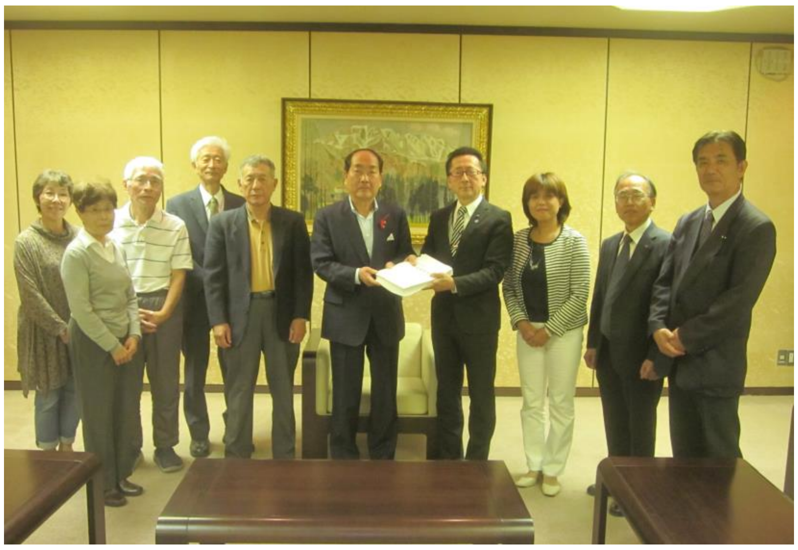
暮らし、福祉、環境、教育など150項目

日本共産党久喜市議団

久喜市に対し 予算要望書を提出する

去る10月20日、日本共産党久喜市議団は、これまで市民から寄せられた要望を１５０項目にまとめ、２０１５年度の予算要望書として市長に手渡しました。

内容は、市民の暮らしや福祉をはじめ、教育、環境、経済などの９分野に渡るもので、積極的な提案をしています。



田中市長に予算要望書を手渡す市議団と他のみなさん

安倍政権のもとで、消費税増税を筆頭に国民負担増が強行される一方、福祉・医療は悪くなるばかりです。こうした中で、要望書では「これまで以上の工夫と努力で市民の暮らしを支え、応援する市政に転換をはかること」、国や県に対しても「言うべきことは言う姿勢」を強く求めています。

おもな項目

「市民の暮らしと権利」では
◆上下水道料金への消費税転嫁をさせない。
◆本庁、各支所に雇用総合窓口を設置し、雇用支援する。など

「福祉、市民生活」では
◆産科・小児科の誘致など地域医療の充実を図る。
◆国が示す介護保険制度の改悪には、市で歯止めをかける。
◆高い国保税、介護保険料などの引き下げを図る。　など

「環境、まちづくり」では
◆各地域の防災倉庫の災害備蓄品の拡充支援をする。
◆デマンドバスは市内どのエリアにも行けるよう改善をする。

「教育・文化・スポーツ」では
◆少人数の学級運営を図る。
◆スポーツ施設の建設を図ること
競争や格差をもたらす全国学力テストには参加しないなど

「商工業農業の振興策」では
◆住宅リフォーム・商店リニューアル助成制度で地域活性化を図る
◆後継者への独自支援策を図る

「地方政治、財政・環境」では
◆上下水道料金の引き下げ。
◆原発再稼働に反対することなど
そのほか、南栗橋液状化被害対策の市独自支援や、補償をすることです。

鷲宮「コスモスフェスタ」で

軽自動車税が大増税！共産党は反対（新生久喜と公明は賛成）

車種区分		税額		
		現　行	改正後	※重課後
原　付	50ＣＣ	1，０００	2，０００	制度なし
乗　用	営業用	5，５００	6，９００	8，２００
	自家用	7，２００	10，８００	12，９００
貨　物	営業用	3，０００	3，８００	4，５００
	自家用	4，０００	5，０００	6，０００

9月議会では、市の税条例も改悪されました。特に軽自動車税が大幅な増税になります。
①来年４月の新車登録から今の１，５倍に。
②原付は４月から千円が二千円に
③軽自動車は13年以上（重課後）乗ると１．８倍に値上げ。

国の理由では、軽自動車が大型化し、乗用で７２００円に対し、普通車は１０００ＣＣで、２９５００円なので「負担が不均衡だ」というものですが、とんでもありません。なぜ高いほうに合わせるのか！多くの識者も、この値上げはハイブリッド車への乗り換え誘導であり、安易な財源確保策だ、とする声をあげています。

市も議会も、国の増税に賛成ばかり。これでは、市民はたまったものではありません。（杉野）

米価の緊急安定対策を求める要望書を提出しました

今秋の米価は、昨年よりも4000円以上も下がり（コシヒカリなど）農家は悲鳴を上げています。市議団は10月20日予算要望書を提出した際、政府に対し、「緊急対策を講じることを申し入れるように要望する」緊急対策を提案しました。その内容は下記の２点です。

1、「市場隔離」など需給調整に乗り出すこと。
2、直接支払交付金を削減しないこと。

「久喜市の学校給食基本方針」答申出される

合併前、栗橋南小学校では「自校調理方式」による学校給食が運営されていました。校舎建て替えを機に調理室がなくなり、今後どのような給食運営にするのかが問われていました。給食審議会では「久喜市全体の給食運営を決めなければ、栗橋南小学校の給食運営も決めることができない。」とし、これまで 12 回の審議を重ね、2014 年 9 月 30 日「久喜市における学校給食基本方針」の答申が出されました。

答申の内容は、「施設の整備方針」として、「当面は、既存の調理場の有効活用を図りながら給食の提供を進めます。老朽化などによる施設の新たな建設や改修に当たっては、児童生徒数の推移、安全性、施設の稼働率、効率性、給食の配送エリア等を踏まえ、これまでの給食提供の経緯なども考慮し、適正な規模、配置などを検討した上、安全・安心な給食を安定的に提供できる施設となるよう計画的かつ段階的に進めます。」としています。

栗橋南小学校の自校方式給食はどうなる

この間、「栗橋南小並びに栗橋地区小学校の自校調理方式給食継続についての陳情」なども提出され、どのような答申が出されるのか注目されていました。

答申から、栗橋南小学校の給食がどうなるのか、はっきり読み取ることは困難な答申となりました。子どもたちや保護者からも望まれ、優れている「自校調理方式」の給食をなくすべきではありません。今後、この答申を受け久喜市がどう進めるのか問われています。（石田）

水防組合で東日本大震災の復旧事業を視察

視察先は、仙台空港が近くの名取川河口部、仙台湾南部海岸復興部です。名取川河口部では新たに堤防を築く事業が取り組まれ、液状化した地盤を強化する作業を見て来ました。海岸部では海と陸地の間に、コンクリートブロックに覆われた高さ7．2メートル防波堤が築かれ、津波が堤防を越えても破壊されない「粘り強い」防波堤との説明でした。久喜市の利根川強化堤防事業が進められていますが、共通する考え方です。利根川の堤防作りと比較してみると、防波堤がコンクリートブロックで覆われている分、強固な作りとの印象を受けました。（石田）

液状化しやすい地盤を改良中

高さ 7.2mの「粘り強い」堤防

平成25年度国民健康保険特別会計決算に 引き下げを求めて反対

平成２５年度の歳入状況は、昨年から比べると 3.8%の増、歳出は 2.7%の増となりました。医療費は昨年よりも 4.6%の増加です。国保税の収納率は 69.3%と低く、高すぎて払い切れない現状が続いています。

久喜市における国保加入者の平均所得は１８７万円、一人あたりの国保税負担額は９万４１９５円、世帯では、１６万５４３７円です。１ヶ月あたり１５万６０００円の所得で１万３８００円の国保税を払うことになります。そのほかに住民税、年金、家賃、水光熱費、そして物価高に消費税増税と、暮らしが一層厳しく、本当に支払えない方がたくさんいるのです。滞納世帯は３６０３世帯、所得２００万以下の方たちは、その内 66.9%を占めています。負担軽減が必要です。

平成２５年度の国保会計決算を分析して見ると１３億円を超える剰余金を出しています。昨年に比べ３億円の増です。基金は７億２９００万円で適正額を超えています。国保税を決定する際、医療費の伸び率を 7.0%と見込んだものの 4.6%の伸びにとどまっています。医療費がおさえられたのなら、その分市民に返すべきです。しかし市では一般会計法定外繰入金を減額しています。約束した県平均７億８０００万円の法定外繰入金を入れ、剰余金と合わせ、国保税引き下げをすべきです。

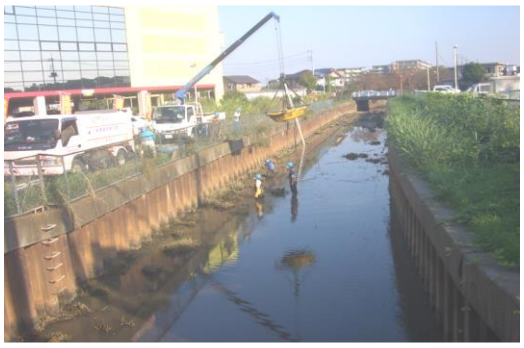
国保は社会保障です。国、自治体は市民の命と健康を守らなければならないのです。今市民の置かれている現状を直視すべきではないでしょうか。（渡辺）

課題だった河川の除草が進みます

9月議会で中落堀川・青毛堀川等の除草を取り上げました。

10月末「平間さんが取り上げた除草作業をやっているよ」と、地元の方から連絡をもらいました。

早速見に行きましたが、大変な作業中でした。除草した葦等をボートに乗せてクレーン車で釣り上げています。その後ゴミ収集車に積み込んでいく。これのくり返しです。作業をしている方がた、深いところでは胸の高さまで水につかっています。



除草作業中の中落堀川クレーンでつり上げているところ

青葉を流れる青毛堀川の除草も12月15日までに終了すると告知されていましたが、すでに終わっています。

香取公園・久喜北陽高校の間など、きれいになりました。

作業をしてくださった皆さんご苦労様でした。中落堀川・青毛堀川の周りを散歩される方、チョット中を覗きこんでみてはいかがですか。いつもと違うさわやかな気分になるかもしれませんよ。

（平間）